



笑顔があふれ 夢を叶えられる富山県の実現に向けて

県広報 とやま

2021
April
NO.495

4

令和3年度
県予算

ビヨンドコロナのワクワクを目指して

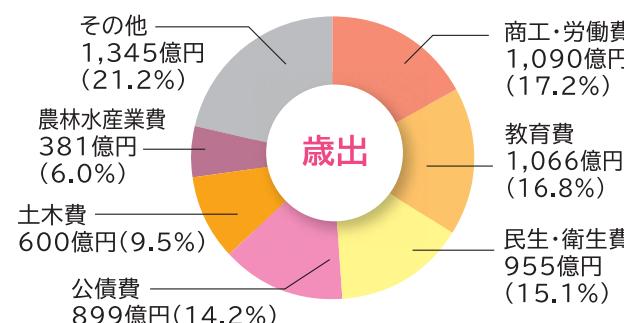
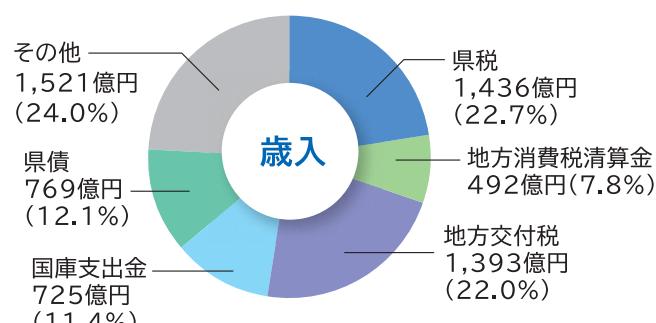
令和3年度の予算規模は、約6,336億円(前年度比10.9%増)で、4年連続の増額予算となりました。まずは、県民の皆様の命と健康を守ることを最優先に、感染拡大防止や医療提供体制の整備、事業継続・雇用の維持、経済の回復など、新型コロナ対策に必要な予算を確保しました。

また、県民目線と現場主義を徹底し、民間活力を活かしスピード感を持って、必要な施策を重点的、効率的に推進するため、8つの柱からなる重点政策を掲げ、「富山八策」と88の具体策の実現に向けた事業を盛り込んでいます。

コロナとの戦いはまだしばらく続きますが、1日も早く乗り越えて、その先にあるビヨンドコロナの時代を見据えた、ワクワクする富山県、新しい富山県の創造に取り組んでまいります。



■令和3年度富山県一般会計予算 予算総額 約6,336億円 (令和2年度当初予算比+10.9%、+624億円)



- 国からの交付金などを活用した新型コロナ対策経費の大幅な増加
- 当初予算としては平成11年度の約6,176億円を上回る過去最大の規模

重点政策別の主な事業については中面をご覧ください

令和3年度 県庁の新たな組織体制

重要課題への取組みを部局横断的に推進するとともに、官民連携の強化や市町村との連携・協力の深化を図るために体制を整備し、お客様目線のスピードを重視した効率的な行政運営による、県民が主役の富山県を目指します。

●副知事複数制の導入

副知事を2人体制(うち1人は女性)とし、政府・与党や大企業、海外機関との折衝、危機管理対応、女性活躍の推進など、知事の仕事を分担し、意思決定のスピード向上や実効性、施策の推進力を高める

●新しい「局」

知事政策局	重要課題への取組みを部局横断的に推進するため、総合政策局を「知事政策局」に改組し、3室を新設	成長戦略室 成長戦略の策定、官民連携や規制緩和・特区の活用を推進、ベンチャー創出の取組みを強化、カーボンニュートラルを部局横断的に推進 デジタル化推進室 地域や企業のデジタル化、県・市町村行政のデジタル化・生産性向上、府内システム基盤整備等を推進	働き方改革・女性活躍推進室 働き方改革や女性活躍の取組みを推進
危機管理局	危機管理部門を独立させ、危機管理・災害対応の体制を強化		
地方創生局	「ワンチームとやま」の推進など地方創生の取組みを推進するため、観光・交通振興局を「地方創生局」に改組し、1室を新設	ワンチームとやま推進室 県と市町村の連携・協力を深化させ、「ワンチームとやま」を推進	

●その他の部局内の改組

総務課	総合計画の進捗管理など行政経営管理を強化 (経営管理部 文書総務課を改組)	学術振興課	将来の富山を担う「人材」の育成を支援 (経営管理部内に新設)
健康対策室	新型コロナウイルス対策の体制強化 (厚生部内に新設、新設の感染症対策課と健康課で構成)	地域産業支援課	中小企業・小規模事業者を一体的に支援 (商工労働部 経営支援課・商業まちづくり課を改組)

8つの柱からなる重点政策

「8つの重点政策」の実現に向けた、「八つの重点政策・八十八の具体策ロードマップ」を県ホームページで公開しています。

詳しくは [八つの重点政策ロードマップ](#)



令和3年度当初予算について、詳細な情報は [令和3年度富山県予算](#)

◎問合せ先 県財政課 TEL.076-444-3167

新型コロナ対策

- 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関等に対する支援・体制確保
- 中小企業の再建支援・雇用維持等に加え、経済活動の回復に向けた取組みを支援



医療機関等支援、検査・診療体制確保

ワクチンを迅速かつ適切に接種するための体制確保、かかりつけ医等からの紹介でPCR検査を受けられる体制の整備、入院病床の確保などに取り組みます。

富山県中小企業リバイバル補助金

中小企業・小規模事業者やNPO法人等の事業活動の再建、成長発展に向けた意欲的な取組みを支援します。(オンライン申請に対応)

コロナ離職者再就職支援事業

国のトライアル雇用助成制度と連携し、コロナ離職者の正規雇用を支援します。

「制度融資メニューの創設」

DX推進資金

デジタル技術活用設備投資を実質3年間無利子で後押しします。

ビヨンドコロナ応援資金

金融機関と連携して経営改善等に取り組む場合、信用保証料をゼロに引下げます。

経営改善サポート資金

再生支援協議会や信用保証協会等の支援により作成した事業再生計画に基づいて経営を再建する場合、信用保証料をゼロに引下げます。

産業・経済の活性化

- 新型コロナの影響を受けた事業者の事業再建に向けた取組みやアフターコロナを見据えた新たな事業展開を支援
- 成長戦略の策定や先端技術の活用等により、新産業の創出や産業競争力を強化
- 起業やUIJターン・移住の促進に向け、スタートアップやテレワークの取組み等を支援



「富山県成長戦略会議」開催事業

事業費 1,000万円
産業経済の未来を切り拓くため、更なる発展に向けたビジョンや戦略を策定します。

とやまベンチャービジネス支援事業

事業費 400万円
ベンチャー企業の資金調達を「オール富山」で推進するため、「とやまベンチャービジネス支援協議会(仮称)」を設立し、必要な施策を検討・実施します。

事業再編推進事業

事業費 500万円
県内中小企業の経営資源を次世代に引き継ぎ、経営基盤の強化や、販路開拓、新事業展開につなげるため、「富山県事業承継支援戦略」を改定。県内企業の「望まぬ廃業ゼロ」を目指します。

女性活躍の推進、子育て環境の充実

- 新たに「女性活躍推進戦略」を策定し、女性が活躍できる職場環境を実現
- テクノロジーを活用し、官民一体で、仕事と子育ての両立など、働き方改革を推進
- こども病院、不妊治療、ひとり親家庭支援など安心して子育てできる環境を整備



女性活躍推進戦略事業

事業費 1,000万円
県内企業の実態調査の実施、有識者等からなる戦略会議による「女性活躍推進戦略」の策定、富山版えらぼし認定制度の創設検討などを通じ、2030年までに女性の管理職割合、全国トップ20以内を目指します。

テクノロジーを活用した働き方改革ラボ事業

事業費 800万円
県庁が率先して民間テクノロジーを活用した生産性向上に取り組み、その成果を県内自治体や企業等へも波及させ、県全体の働き方改革を後押しします。

富山県小児医療等提供体制検討会開催事業

事業費 300万円
富山こども病院構想を含めた小児医療提供体制のあり方について検討します。

健康寿命の延伸、医療・介護の充実

- データヘルス等を活用し、健康寿命日本一に向けた事業を展開
- 病院経営の安定と質の高い医療を継続的に提供するための取組みを推進
- 高齢化社会を見据え、医師、看護師、保健師、介護職員等の人材を養成・確保



国民健康保険健康づくり推進事業

事業費 9,431万円
市町村国保が保有する医療・健診・介護情報の分析を踏まえた、効果的な保健・介護予防事業の推進やICTを活用したオンライン保健指導を支援し、保健医療分野のデジタル化を加速します。

とやま地域医療連携ネットワーク推進事業

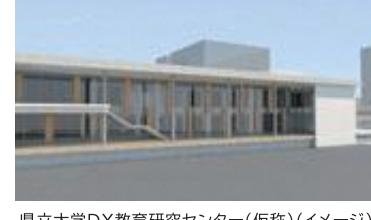
事業費 4,000万円
大学病院、医療機関等と連携し、医師不足に直面する県内医療機関を支援します。

元気高齢者による介護助手制度の導入検討

事業費 530万円
モデル施設での実証実験等を行い、地域の元気な高齢者による介護助手制度導入の効果や課題の整理、ノウハウの蓄積等を行います。

デジタル化・産学官連携・市町村連携の推進

- 行政のデジタル化を推進とともに、デジタル人材育成に向けた取組みを支援
- 市町村との連携協力体制を強化し、行政課題の解決に向けた「ワンチームとやま」の取組みを推進



行政手続きオンライン化推進事業

事業費 726万円
電子申請可能な行政手続きを増やす、手続きのオンライン化を推進します。(原則、5年内に全ての手続きをオンライン化対応)

県立大学DX教育研究センター(仮称)の整備

事業費 16億6,900万円
DXを担う人材育成とDX分野の研究強化を図ります。(令和4年度供用開始予定)
※DX:デジタルトランスフォーメーションの略

「ワンチームとやま」連携推進事業

事業費 100万円
県・市町村の連携により各種政策を推進します。
<当面の連携項目>
①市町村による有害鳥獣の連携捕獲推進
②県単医療費助成制度のあり方検討
③ゼロカーボンシティ富山の実現
④防災・危機管理体制の連携・強化
⑤自治体行政のデジタル化

農林水産業の振興、持続可能な地域づくり

- 県産農林水産物等のブランド化や販路拡大、生産性の向上により、稼げる農林水産業を実現
- 地域活性化に向けて住民の話し合いを進めるとともに、デジタル技術やテクノロジーなどを活用し、中山間地域における課題解決を支援
- 誰もが、いつまでも、安全で安心して暮らせる地域の基盤づくりを推進



とやま型スマート農業推進事業

事業費 1,819万円
スマート農業の普及に向けた実証や、「スマート農業普及センター」(令和3年4月開設予定)における農業高校生等を対象とした体験研修を実施します。

中山間地域ドローン物流実証事業

事業費 800万円
「中山間地域ドローン物流勉強会(仮称)」を設置し、ドローンを活用した物流について実証実験を実施します。

鳥獣被害防止総合対策事業

事業費 5億1,249万円
農地等への鳥獣の侵入防止対策に係る新技術の実証に加え、(2月補正含む)イノシシの捕獲の強化や捕獲イノシシの処分施設の整備を支援します。

スポーツ・文化の振興、多様な人材の活躍、SDGsの推進

- スポーツ・文化に親しむ環境づくりを推進するとともに、伝統工芸品の販路開拓等を支援
- SDGsの達成に向けた取組みや県民ひとりひとりが活躍できる社会づくりを支援



とやま伝統工芸REAL&EC展示販売事業 in China

事業費 2,100万円
中国北京市で伝統工芸展を開催するとともに、越境ECサイトに本県特設店舗を出店し、実店舗とネットの双方向から海外販路開拓を支援します。

県民総参加のSDGs推進事業

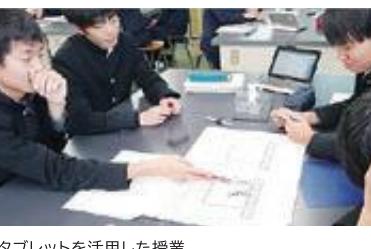
事業費 770万円
県内企業等による「SDGs宣言」を募集し、優良事例を発掘するほか、市町村や企業等のSDGs普及啓発事業を支援します。

「とやまワカモノ・サミット(仮称)」開催事業

事業費 200万円
若者が政策を提案し、知恵と意見交換を行うフォーラムを開催します。

教育の充実など人材育成の推進

- 少人数教育や課題解決型学習、地域社会と連携した教育等を推進
- 県内大学への進学率の向上やビジネスパーソン、シニア層等のスキルアップを支援



少人数教育推進事業

事業費 2億2,655万円
国より2年先行して35人学級を実施し、少人数学級と少人数指導を組み合わせた効果的な少人数教育を推進します。(令和3年度は、小学校1~4年生で実施、令和5年度には全学年で実施)

とやま学生居住支援事業

事業費 360万円
地域貢献活動への参加等を条件に、県内大学に在学する県内出身の学生に対し家賃の一部を支援します。

県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業

事業費 540万円
社会のデジタル化推進や社会人の学び直しのニーズに応じ、オンラインによる教育プログラムを提供します。

観光振興など選ばれる県づくり

- 感染拡大防止と観光需要回復の両立を図りつつ、国内外からの誘客や消費拡大を促進
- 富山きときと空港と伏木富山港の活性化、公共交通の整備や維持・確保を支援
- 災害から県民の生命等を守るために、社会資本整備により、県土強靭化と地域経済活性化を推進



ウェルカム富山県キャンペーン事業

事業費 5億8,000万円
宿泊者に対する特典付与を継続し、新たに近隣県民向けの宿泊割引キャンペーンを実施します。

富山きときと空港運営あり方調査事業

事業費 1,800万円
新型コロナ収束後における空港運営のあり方について調査検討を実施します。

城端線・氷見線LRT化調査事業

事業費 1,734万円
LRT化など新しい交通体系の検討の一環として、事業費等の調査を実施します。

令和の公共インフラ・ニューディール政策

事業費 1,068億円
(2月補正含む)
治水・海岸・土砂災害対策、橋梁・トンネルなどの老朽化対策、物流と生活を支える社会資本整備などを推進することにより、河川堤防の整備や道路防災対策等の目標を1年前倒しで達成するなど、県土の強靭化を加速化するとともに、県内経済の活性化を図ります。

TOPICS①

県ウェブサイトをリニューアルしました

すべての利用者の方が「より使いやすく、必要な情報にたどり着きやすい」ウェブサイトにするため、3月25日に全面リニューアルしました。

- スマートフォンやタブレット端末での表示に対応
- 「県民の方々」「事業者の方々」「魅力・観光」の3種類のトップページを設置
- カレンダー形式でわかりやすくイベントを案内
- ふりがな付与や外国語の自動翻訳機能により読みやすく
- 災害発生時等には特設エリアで緊急情報を大きく表示

URLが変わりました

旧: <http://www.pref.toyama.jp/>
新: <https://www.pref.toyama.jp/>



PC版 県民の方々向けトップページ

◎問合せ先 県広報課 TEL.076-444-3133



スマートフォン版
魅力・観光まとめページ

元気レシピ♪

旬のアスパラガスと
春キャベツの塩昆布炒め



<協力>砺波市食生活改善推進員協議会

近年、砺波市で栽培が盛んなアスパラガスを用いた手軽な料理。アスパラガスは新陳代謝を促し、疲労回復やスタミナ増強に効果があるというアミノ酸の一種のアスパラギン酸を含み、元気をもたらす一品です。

【材料・分量(2人分)】1人分/87kcal

アスパラガス	………3本	塩昆布	…………7g
キャベツ	…………150g	オリーブ油	…………大さじ1
にんじん	…………30g		

作り方 ①アスパラガスのはかまと皮をピーラーで取り、斜めに切る。②にんじんは太めの千切りにし、キャベツはざく切りにする。③フライパンにオリーブ油を入れ、にんじん、キャベツの順にさっと炒める。④最後にアスパラガスと塩昆布を入れ、炒め合わせる。ツナの缶詰を加えてもおいしい。

の は そ う 富山県では、健康寿命日本一を目指しています。

健 康 寿 命 健康寿命をのばすため、正しい生活習慣、食習慣を心がけましょう。

詳しくは [とやま健康ラボ](#) 検索

◆県広報とやまに関するご連絡、
ご質問は[こちら](#)

〒930-8501(住所記入不要) 県広報課あて

TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478

E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください

<http://www.pref.toyama.jp/form.html>

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折り込みにより各家庭にお届けするほか、県の各施設や市役所・町村役場、図書館のほかコンビニエンスストア(一部)や郵便局でも配布しています。また、本号とバックナンバーは広報課のホームページで閲覧できます。[\[県広報とやま\]](#) 検索

◎「県広報とやま」には点字版と音声版もございます。左記までお問い合わせのうえ、ぜひご利用ください。

令和3年3月31日発行 企画・発行 富山県広報課(富山市新総曲輪1-7) 編集協力(株)チュエツ

※「県広報とやま」は環境に配慮し、植物性大豆油インキと再生紙を使用しています。※下記の広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

なお、広告の掲載については、県広報課(TEL.076-444-3134)までお問い合わせください。

TOPICS②

新型コロナ対策

～県民の皆さまへ重ねてのお願い～



以下の点に注意し、ご自身への感染回避や、ご家族をはじめ他の方に感染させない行動の徹底をお願いします。特に、重症化しやすい高齢者の方々への感染防止が重要です。

- 初めて会う人や、最近会っていなかった人との会食は避け、会食の際は「ますずし」の実践を

「ますずし」…会食の際の感染防止のポイント

ま:マスクつけ す:すぐに手洗い、飲む量抑え ず:少ない人数 し:静かに食べる

- 移動前の2週間は、基本的な感染防止対策の徹底を
- 移動や旅行は混雑しない日時に、家族や、いつもの仲間で
- 花見などは、少人数または飲食なしで

発熱などの症状がある方は

まずはかかりつけ医などの地域で身近な医療機関に電話でご相談ください。相談する医療機関に迷う場合は、「受診・相談センター」にご相談ください。

発熱等がある場合の受診・相談方法(県HP)▶



新型コロナワクチン専門相談窓口

新型コロナワクチン接種について医学的知見が必要となる専門的なご相談などをお受けします。

TEL 076-411-5132 受付時間 9:00~17:00(土日・祝日を除く)

※ワクチン接種日時・場所、接種券(クーポン券)などに関しては、お住まいの市町村にお問合せください。

富山県新型コロナウイルス感染症に関する情報(県HP)▶



◎問合せ先 県健康課(4/1~感染症対策課) TEL.076-444-2176

県政?クイズ

○の中に言葉を入れてください。

令和3年度富山県予算
「ビヨンドコロナの
〇〇〇〇を目指して」

(ヒントは「1ページ」にあります。)



正解者の中から15名の方に
(有)京吉の

「富山湾産ほたるいか醤油漬け
(令和2年度「明日のとやまブランド」選定)」

3パックをプレゼント。

はがきに①~⑦の項目を全て記載のうえ、下記宛先まで。当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。①クイズの答え、②本紙の感想、③郵便番号、④住所、⑤電話番号、⑥氏名、⑦年齢 ※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。

宛先/〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま4月号クイズ係」 締切/4月30日(金)必着
◎前回(1月号)の答え…「マスク」 応募総数 753人 正解者数 751人 たくさんのご応募ありがとうございました。

「富山県広報課」SNS

@pref_toyama

県政やイベントの情報などを発信しています。



無料アプリで
『県広報とやま』を
配信しています。

